

自 平成 24 年 4 月 1 日
至 平成 25 年 3 月 31 日

平成 24 年度 事業報告書

公益財団法人 情報通信学会

平成24年度事業報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

概況

平成24年度は、6月に韓国の学会Korea Association for Telecommunications Policies(KATP)との学会大会シンポジウムとワークショップを共同開催。11月に国際ドラマフェスティバル in TOKYO、東京TVフォーラム、コンテンツ海外流通促進機構、TIFFCOM*、映像産業振興機構VIPOの協力を得て、第29回国際コミュニケーション・フォーラムを開催、12月には長崎歴史文化博物館とシンポジウムの共催を行うなど、他学会、団体との交流が活発に行われた。

また、研究会及び情報通信ビジネス懇談会などが計37回開催された。学会誌も年4号が発行され、昨年度学会誌に掲載された論文のうち、優秀なもの2編に対し論文賞を授与した。

なお、11月に港区虎ノ門から千代田区霞が関に事務所を移転した。

I 学術大会、国際フォーラムの開催事業（公益目的事業1）

1. 第29回情報通信学会大会

第29回情報通信学会大会を6月23日（土）、24日（日）の2日間、秋田県秋田市の公立大学法人国際教養大学を主催校として開催した。シンポジウム及びワークショップは韓国の学会 Korea Association for Telecommunications Policies(KATP)と共同開催となった。国際教養大学の協力を得て、一般市民に広く広報し、無料でシンポジウムに参加できるようにした。このシンポジウムは日韓の学術関係者のみならず、主なモバイル各社の幹部が一同に会する貴重な機会となった。会場からの質問も活発にあり、充実したシンポジウムとなった。秋田市の市街地から離れていたにも関わらず、多くの参加があった。参加者は261名。うち韓国からの参加者は54名であった。このほか、36の個人研究発表と8つの研究会報告が行われ、情報通信分野における様々な研究が報告された。

なお、本大会は、「情報通信月間」の参加行事である。

開催日程 平成24年6月23日（土）・24日（日）

場 所 公立大学法人 国際教養大学

(秋田県秋田市雄和椿川字奥椿岱)

シンポジウムテーマ「モバイルビジネスの未来」

ワークショップテーマ「ブロードバンド政策」

*プログラム等詳細は別紙1

2. 平成24年度関西大会

10月9日（火）、大阪大学中之島センター佐治敬三メモリアルホールにおいて、平成24年度関西大会を開催した。「地域情報化の今—新しいICTの利活用をめざして」と題し、基調講演とパネル・ディスカッションを行った。地域情報化の様々な取り組みについて報告があり、新しいICTの利活用について議論を行った。参加者は110名。また、このシンポジウムはユーストリームによる配信も行った。

開催日程 平成24年10月9日（火）

場 所 大阪大学中之島センター佐治敬三メモリアルホール
(大阪市北区中之島 4-3-53)

基調講演テーマ 「大規模災害時における情報通信基盤の在り方について」

パネル・ディスカッションテーマ 「地域情報化の今—新しいICTの利活用をめざして」

*プログラム等詳細は別紙 2

3. 第29回国際コミュニケーション・フォーラム

第 29 回国際コミュニケーション・フォーラムは 11 月 9 日 (金)、青山学院大学本多記念国際会議場において「クールジャパン 放送番組・海外展開の新時代」をテーマに開催された。国際ドラマフェスティバル in TOKYO、東京 TV フォーラム、コンテンツ海外流通促進機構、TIFFCOM、映像産業振興機構 VIPO の協力を得て、インターネット上の映像配信の普及、放送番組の国際流通に焦点をあて、問題点、今後の可能性について討論を行った。また、シンポジウムの一部について、ユーストリーム配信を行った。ユーストリーム視聴者数は思いのほか多く、一般の関心の高さがうかがわれた。参加者は 158 名、ユーストリーム視聴者数は 1872 名。

開催日程 平成 24 年 11 月 9 日 (金)

場 所 青山学院大学 本多記念国際会議場
(東京都渋谷区渋谷 4-4-25)

シンポジウムテーマ 「クールジャパン 放送番組・海外展開の新時代」

*プログラム等詳細は別紙 3

4. その他 共催シンポジウム

長崎歴史文化博物館常設展示特別企画シンポジウム「長崎からつなぐ<過去・現在・未来> 一日本の電信電話事業の幕開けと現代におけるケーブル事業の展開」を共催、情報通信学会から 3 名が登壇し、長崎県歴史文化博物館ホールにてディスカッションを行った。

開催日程 平成 24 年 12 月 16 日 (日)

場 所 長崎県歴史文化博物館ホール
(長崎県長崎市立山 1-1-1)

主 催 長崎歴史文化博物館

共 催 情報通信学会、社会情報学会 (SSI) 九州・沖縄支部、公益事業学会九州部会

*プログラム等詳細は別紙 4

II 研究会等、機関誌発行、研究顕彰事業 (公益目的事業 2)

1. 研究会の開催

以下の15の研究会が活動を行い、年間計33回の研究会が開催された。各研究会の開催回数は、情報社会研究会 2回、国際情報研究会 1回、情報文化研究会 2回、マルチメディア研究会 1回、情報行動研究会 1回、モバイルコミュニケーション研究会 5回、情報知財研究会 7回、間メディア社会研究会 1回、情報社会システム研究会 1回、メディア集中に関する研究会 1回、地域メディア研究会 3回、ICT将来政策研究

会 3回、情報通信経済法学研究会 2回、歴史文化とデジタルメディア研究会 3回である。情報通信文明史研究会はこれまでの研究会報告を冊子にまとめ発行した。

- ① 情報社会研究会
- ② 国際情報研究会
- ③ 情報文化研究会
- ④ マルチメディア研究会
- ⑤ 情報行動研究会
- ⑥ 情報社会システム研究会
- ⑦ 間メディア社会研究会
- ⑧ メディア集中に関する研究会
- ⑨ モバイルコミュニケーション研究会
- ⑩ 情報知財研究会
- ⑪ 地域メディア研究会
- ⑫ ICT将来政策研究会
- ⑬ 情報通信経済法学研究会
- ⑭ 歴史文化とデジタルメディア研究会
- ⑮ 情報通信文明史研究会

*研究会の詳細は別紙 5

2. 情報通信ビジネス懇談会

情報通信ビジネス懇談会は一般の方にもわかりやすく情報通信に関する様々な問題を取り上げ、講演を行っている。今年度は、総務省の情報通信に対する取組をテーマに計3回、今後の課題と政策をテーマに1回、計4回のビジネス懇談会を開催した。

*情報通信ビジネス懇談会の詳細は別紙 6

3. 情報通信学会誌の発行

投稿論文、論説と学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラムの講演録を掲載した情報通信学会誌102号から105号までを年4号を発行した。

発行部数は1300部、会員に送付されるほか、54団体が定期購読を行っている。

*情報通信学会誌各号の詳細は別紙 7

3. 論文賞の授与

平成 23 年度発行の学会誌に掲載された論文から優秀賞 1 編、佳作 1 編が編集委員会により選出され、6 月 23 日に国際教養大学で開催された学会大会において表彰を行った。

<優秀賞> 「日本の音楽市場における媒体間の関係に関する実証分析」 浅井澄子（学会誌第 29 巻第 2 号№99 2011 年 9 月発行）

<佳 作> 「対人関係の親疎とコミュニケーションメディアの選択に関する研究」 小寺敦之（学会誌第 29 巻第 3 号№100 2011 年 12 月発行）

Ⅲ 管理部門

平成24年度は、これまでフロアを借りていた一般財団法人マルチメディア振興センターより、事務所縮小のため退去してほしい旨申し入れがあり、賃貸マンションなどを含め十数件の物件を比較検討した結果、一般社団法人電波産業会のフロアの一部を借りることを決め、11月に事務局の移転を行った。

収支においては、賛助会員の退会がここ数年続いており、会費収入が一段と減り、学会運営は厳しい局面となってきている。個人会員についても減少傾向にあり、今後の対応が必要とされている。

1. 会員の増減

正会員（一般）40名、正会員（院生）16名、計56名の入会があったものの、正会員（一般）62名、正会員（院生）25名、計87名の退会があり、個人会員の数は862名となった。正会員（団体）は1団体、独立行政法人情報通信研究機構が退会。賛助会員は、2団体、株式会社シーエーモバイル、一般財団法人電気通信端末機器審査協会の入会があったが、3団体、関電システムソリューションズ株式会社、独立行政法人情報通信研究機構ユニバーサルコミュニケーション研究所、パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社の退会があり、賛助会員は40団体となった。今後、賛助会員及び個人の正会員の増強を図ることが求められる。

*会員の増減状況については付属明細書に記載する。

2. 収支状況

平成25年3月31日現在、正味財産増減計算書の経常収益計は19,457,855円、経常費用計は21,537,775円。正味財産の期末残高は91,449,462円となった。

経常収益においては、賛助会員2団体の新規入会があったものの、3団体の退会があり、賛助会員受取会費は前年度比で400,000円の減となったが、学会大会の事業収益が韓国KATPの学会大会参加もあり、前年度比で359,900円の増となるなど、経常収益全体では前年度比259,786円の増であった。

一方、経常費用においては、本年度は事務局の移転があり883,888円の費用がかかっている。移転に際し、マルチメディア振興センターより保証金1,056,000円の返金があり、この移転費用に充てた。また、本年度より会計ソフトへの入力作業を税理士に委託することにしたため、委託費は前年度比で480,001円の増となった。委託費には公益法人会計ソフト使用料を含む。なお、臨時雇賃金は事業費において前年度比で605,395円の減、管理費において前年度比で396,500円の減となったが、事業費における印刷費の増加、移転費用などの支出があり、経常費用計では前年度比で1,298,496円の増加となった。

3. 評議員会及び理事会の開催

平成24年度は事務局の移転、定款や規則の見直しの検討など議案が多くあり、評議員会を4回、理事会を9回開催した。

*評議員会及び理事会の詳細については別紙8

4. 委員会等の開催

正副会長常務理事会、事業企画委員会、研究企画委員会、編集委員会、関西センター委員会のほか、定款及び規則の見直しワーキンググループがそれぞれ別紙のとおり委員会及び会合を開催した。

また、委員の負担を軽くするため、委員会のメールリングリストを活用し、検討を行った。

- ・正副会長常務理事会 2回開催、ほかメーリングリストによる検討
 - ・事業企画委員会 1回開催、ほかメーリングリストによる検討
 - ・研究企画委員会 開催なし、ほかメーリングリストによる検討
 - ・編集委員会 3回開催、ほかメーリングリストによる検討
 - ・関西センター委員会 4回開催、ほかメーリングリストによる検討
 - ・情報化委員会 1回開催、ほかメーリングリストによる検討
 - ・定款及び規則の見直しワーキンググループ 3回開催
- *委員会等の詳細は別紙9

第 29 回情報通信学会大会

- 開催日程 平成 24 年 6 月 23 日（土）・24 日（日）
場 所 公立大学法人 国際教養大学
(秋田県秋田市雄和椿川字奥椿岱)
主 催 公益財団法人情報通信学会
協 賛 情報通信月間推進協議会・国際教養大学
シンポジウム共催 Korea Association for Telecommunications Policies
シンポジウム協賛 株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンクモバイル株式会社、
SK Telecom、KT、LG U+
* 情報通信月間参加行事

<プログラム>

6 月 23 日（土）

- アーリーバード（個人研究発表大学院生の部）
会長挨拶 菅谷 実（情報通信学会会長）
Dong Ju Kim（KATP 会長）
招聘校挨拶 中嶋嶺雄（国際教養大学学長）
来賓挨拶 武井俊幸（総務省東北総合通信局局長）
Kyeong Sik Cho（Spokesperson, Korea Communications Commission）
共同シンポジウム「モバイルビジネスの未来」
基調講演 辻村清行（株式会社 NTT ドコモ代表取締役副社長*）
Hyunghee Lee（Senior Executive Vice President of SK Telecom）

パネル・ディスカッション

- モデレータ 神野 新（株式会社情報通信総合研究所主席研究員）
パネリスト 辻村清行（株式会社 NTT ドコモ代表取締役副社長*）
牧 俊夫（KDDI 株式会社執行役員事業統括部担当）
松本徹三（ソフトバンクモバイル株式会社取締役特別顧問）
Hyunghee Lee（Senior Executive Vice President of SK Telecom）
Heesu Kim（Vice president of KT）
Hyung-il Park（Vice president of LG U+）

大会実行委員長挨拶 前中ひろみ（国際教養大学国際教養学部教授）

* 平成 24 年 6 月 15 日付で、ドコモエンジニアリング株式会社代表取締役社長に就任

6 月 24 日（日）

共同ワークショップ「ブロードバンド政策」

パネル・ディスカッション

モデレータ 菅谷 実（当学会会長・慶應義塾大学メディア。コミュニケーション研究所教授）

パネリスト Johannes Bauer (Professor, Michigan State University)
Jong Hwa Lee (Research Fellow, KISDI)
辻 正次 (兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科教授)

個人研究発表 (一般の部)

研究会報告

ポスターセッション

<概要>

シンポジウム「モバイルビジネスの未来—モバイル・エコシステムの確立に向けたコーオペレーション—」

モバイル産業はデータ通信利用の増大に伴い、ビジネスモデルの変更、ユーザビリティの向上、ネットワーク高度化など、様々な新たなチャレンジに直面している。これらの課題の解決のためには、端末、ネットワーク、コンテンツ・アプリケーション事業者の協業により、全体的なイノベーション・サイクルを機能させる「モバイル・エコシステム」を確立することが望ましい。そのような協業をスムーズに推進することは可能なのか？推進に当たっての障害は何か？われわれは、いかにして、それらの障害を克服するのか？本セッションでは、そのような観点から、モバイルビジネスの未来について議論を行った。

ワークショップ「ブロードバンド政策」

近年 各種スマート・デバイスの登場によりブロードバンド・サービスに対する需要も高まるなかで、無線系ネットワークに並んで FTTH に代表される有線系ブロードバンドネットワークの普及率とブロードバンド・サービスの加入率の成長が注目されている。

これまでもブロードバンド・サービスの普及を促進するために設備競争とサービス競争、どちらの政策を選択すべきか、あるいは、ブロードバンド分野にもユニバーサル・サービス基金制度を導入すべきか、さまざまな課題が提起されている。

本ワークショップでは、日本と韓国のブロードバンド政策の現状と問題点を提示いただき、そこからブロードバンド・サービスの普及を促進する政策の方向性さらには、ブロードバンドの普及により顕在化する社会的問題についても議論を行った。

<個人研究発表>

大学院生の部

1. 地域ブロードバンド市場における設備競争進展の要因分析—三重県津市・富山県富山市・長崎県長崎市— 米谷南海(慶應義塾大学大学院生)
2. ウェブ利用者に対する観光および地域づくり誘致のあり方 軍司聖詞(早稲田大学大学院生)
3. 利用者中心の行政手続の電子化 - 手続協力費用削減モデルの構築 - 本田正美 (東京大学大学院生)
4. クラウド・コンピューティングにおけるビジネス・エコシステムと市場形成について 栗田克己 (早稲田大学大学院生)
5. 情報通信分野における日本の ODA の有効性に関する実証的分析 畠山裕爾 (早稲田大学大学院生)、三友仁志 (早稲田大学)
6. 日韓におけるデジタル・コンテンツの東アジア内の流通 李ウォンギョン (早稲田大学大学院生)

7. 東日本大震災においてラジオが果たした情報伝達機能—岩手県の県域AM局と災害FM局の考察から— 野田尚紀（岩手県立大学大学院生）
8. 東日本大震災における被災学生の行動と意識—被災時のメディア利用と災害観— 松枝世（筑波大学大学院生）
9. CGMが演奏者の共同性に与える影響の研究 村川雄（長崎県立大学大学院生）、吉光正絵（長崎県立大学）
10. モバイルメディアの普及期における少女漫画の内容分析を通じた女子高校生の恋愛コミュニケーション 渡辺麻貴（慶應義塾大学学部生）、天笠邦一（慶應義塾大学）、小川克彦（慶應義塾大学）

一般の部

1. 日本と中国におけるモバイルデータサービス利用 高田義久（慶應義塾大学）、藤田宜治（総務省）
2. 電波利用効率化のエコノミクス—スマートフォンの急速普及はバブルか(?)— 鬼木甫（情報経済研究所）
3. 東アジアの若者の社会意識にソーシャルメディアが与えた影響 吉光正絵（長崎県立大学）
4. 都市災害時におけるソーシャルメディアの可能性—東日本大震災時におけるソーシャルメディア利用のユーザ調査から— 天笠邦一（慶應義塾大学）、東宏樹（防災科学技術研究所）
5. 多次元尺度構成法を用いた住民の安全・安心意識の視覚化—自治体の安全・安心IT施策に対する住民評価の理解に向けて— 田中康裕（早稲田大学）、針尾大嗣（摂南大学）
6. 就職活動のモバイル化と大学生のコミュニケーション 松下慶太（実践女子大学）
7. ブログ・SNSの信頼性に関する実証分析 小笠原盛浩（関西大学）
8. 今起こりつつある広告の変容に関する推論 長谷川想（電通）
9. 放送事業の効率性に関する実証分析—地域性の検証と提案— 脇浜紀子（慶應義塾大学）
10. 「フィールドワーカーのための電波利用講座」活動報告 中野幸紀（関西学院大学）、窪田誠（関西学院大学）、吉野太郎（関西学院大学）、曾根康仁（関西学院大学）
11. Privacy と Property の微妙なバランス：Post 論文を切り口にして Warren and Brandeis 論文を読み直す 林紘一郎（情報セキュリティ大学院大学）
12. スマートフォンの普及と監視・プライバシー問題への意識に関する一考察 吉田達（新潟大学）
13. クラウド・サービス事業者の著作権侵害責任—米国との判例比較から得られる日本法への示唆— 城所岩生（国際大学グローバルコミュニケーションセンター）
14. 中国映像サイトの現状と未来——日本発コンテンツとの関係を中心に— 劉佳（慶應義塾大学大学院生）、菅谷実（慶應義塾大学）
15. 「アニメ聖地」の地域イメージを形成する主体としての住民—埼玉県久喜市鷲宮地域と滋賀県犬上郡豊郷町の事例から— 谷村要（大手前大学）
16. 電子書籍事業における「タイム スペント ペイメント」モデルの提案—売り切りモデルから従量制モデルへの可能性の検証— 鈴木秀顕（東北学院大学）、布川博士（岩手県立大学）
17. 教育の情報化と教室内のコミュニケーション—総務省「フューチャースクール推進事業」の事例から— 中橋雄（武蔵大学）
18. グローバル時代のICT標準化教育とその効用 中西浩（大阪大学）、金谷学（大阪大学）
19. 日本の地方議員の「政治活動」期間におけるインターネット技術利用の現状—2011年3月～2012年2

月までの、東京都議会議員、大阪府議会議員のインターネット技術利用状況調査を通して— 中西豪士（フリーランス・エディター）

20. 選挙におけるソーシャルネットワークの影響—ソウル市長補欠選挙と大阪市長選挙の比較— 李洪千（慶應義塾大学）
21. BCP（事業継続計画）目的でのテレワーク導入・実施における利点と課題に関する研究—首都圏の企業雇用労働者を対象としたアンケート調査から— 吉見憲二（早稲田大学）
22. 個人のメンタルケアや主観的幸福感（SWB）測定等に関わる情報システム構築に用いる"セルフイメージ情報"の識別能に関する検討 金子学（建設技術研究所）、針尾大嗣（摂南大学）
23. 実体験とメディアを通じた情報受容が震災後の行動に与えた影響に関する研究—「ピタゴラス効果」とその存在の実証的分析に向けて— 三友仁志（早稲田大学）、大塚時雄（秀明大学）、木村幹夫（日本民間放送連盟）
24. ブロードバンド ISP 市場の競争性に関する分析—日本型ネット中立性対策の前提条件の再検討— 実積寿也（九州大学）
25. ICT プラットフォーム規整 林秀弥（名古屋大学）、福田雅樹（早稲田大学）
26. 医療分野における ICT 利活用問題—先進国から見たわが国の問題点— 樋口清秀（早稲田大学）、Shu Xing（亀田総合病院）

ポスターセッション

1. モバイル通信技術の革新と社会的形成（Social Shaping）—東アジアにみる情報フレーム化・市場モジュール化の軌道優位性の考察— 河又貴洋（長崎県立大学シーボルト校）
2. デジタル・コンテンツ政策に対する消費者の制度受容要因に関する研究 加藤尚徳（総合研究大学院大学）、岡田仁志（国立情報学研究所）
3. チャープ変換を用いた動画用 3 次元電子透かし 魏 遠玉（芝浦工業大学大学院生）、大関和夫（芝浦工業大学）、平川豊（芝浦工業大学）、倉木真生（芝浦工業大学大学院生）、佐藤清次（産業技術短期大学）

<研究会報告>

1. 情報社会研究会

「災害記録と S 3 D 映像」中村広幸（芝浦工業大学）

2. 国際情報研究会

「グローバル ICT 市場におけるモバイル・エコシステムの形成要件」田中絵麻（マルチメディア振興センター）、三澤かおり（マルチメディア振興センター）、Marco Korder（McCann Worldgroup）

3. メディア集中に関する研究会

「国際プロジェクトの状況について」 林紘一郎（情報セキュリティ大学院大学）

「国際プロジェクトに対する日本からの報告について」 浅利光昭（メディア開発綜研）

「放送分野の各国比較について」 市川芳治（慶應義塾大学）

「通信分野の各国比較について」 山田肇（東洋大学）

司会者：山田肇（東洋大学）

4. 情報社会システム研究会「ネットメディア時代における新しい政治運動・選挙運動の形を提示する」

「変貌するメディアとアメリカの社会運動、選挙：ティーパーティー運動とウォール街占拠運動を中心

にして」 前嶋和弘（文教大学）

「日本の大都市におけるインターネット選挙：2010年参議院選挙および 2011年大阪市長選挙を事例として」 上ノ原秀晃（大阪商業大学）

討論：李洪千（慶應義塾大学）

司会者：清原聖子（明治大学）

5. 情報通信経済法学研究会

「プラットフォームから見た英国 I C T市場」 林秀弥（名古屋大学）

「米国における価格圧搾に対する規律に関する一考察」 福田雅樹（早稲田大学）

司会者：林秀弥（名古屋大学）、福田雅樹（早稲田大学）

6. モバイルコミュニケーション研究会

「ハイブリッドネットワークの結節点としての場所メディア—子育て期の両親のメディア利用に関する一考察—」 天笠邦一（慶應義塾大学）

「日本におけるデジタル教科書導入プロセスの検討—日韓米比較を通して—」 上松恵理子（新潟大学）

「セカンド・オフライン—モバイルARと新しい移動感覚に関する研究—」 富田英典（関西大学）

司会者：藤本憲一（武庫川女子大学）

7. 地域メディア研究会

「ブロードバンドの普及拡大が拓く映像系地域メディアの可能性」 米谷南海（慶應義塾大学大学院）、脇浜紀子（読売テレビ放送）

コメンテータ：高田義久（慶應義塾大学）、菅谷 実（慶應義塾大学）

司会者：上原伸元（東京国際大学）

8. 情報行動研究会

「東日本大震災における首都圏住民の震災時の心理と情報行動—マスメディア・ソーシャルメディアの利用、被災地に関係する人の情報行動—」 関谷直也（東洋大学）

コメンテータ：中森広道（日本大学）

司会者：吉井博明（東京経済大学）

平成24年度関西大会

開催日程 平成24年10月9日(火)
場 所 大阪大学中之島センター佐治敬三メモリアルホール
(大阪市北区中之島4-3-53)
主 催 公益財団法人情報通信学会

<プログラム>

基調講演 「大規模災害時における情報通信基盤の在り方について」

増田寛也(野村総合研究所顧問)

パネル・ディスカッション「地域情報化の今—新しいICTの利活用をめざして」

パネリスト 谷脇康彦(総務省大臣官房審議官情報流通行政局担当)

寺崎秀俊(熊本市副市長)

山田恭輔(佐賀県武雄市政策部)

野村靖仁(NPO法人地域情報化推進機構副理事長)

コーディネータ 中野雅至(兵庫県立大学応用情報科学研究科教授)

<概要>

地域活性化という言葉が人口に膾炙し始めたのはいつの頃であったか。国家目標であった高度成長を成功裡に達成した後、「地方の時代」「官から民」「中央から地方」といったスローガンに転換して以来、この言葉を聞かない日はないように思える。とくにIT時代が始まった90年代では、地域活性化と表裏一体で使われだしたのが地域情報化である。地方自治体のIT化である行政の情報化と共に、地域での産業・医療・教育を含めた地域活性化に一環として積極的に推進されてきた。

地域情報化は時代の変化と共に、その歩みを着実に進めてきたが、その一方で、最近フェイスブックやツイッターなど新たな情報技術による社会変革、スマートフォンや電子書籍などのビジネス面でのIT活用に比べると、その存在感が薄くなってきた感がする。しかし、これは表層的な見方というべきであろう。何故なら、ITは今や自治体や地域社会の運営に必須の要素になったからである。地域社会に溶け込み、ツイッターほど一般の人にとっては目立たない存在となったと言っても過言ではない。いわば、地域情報化政策は急速な発展を遂げ、今や安定期に入り普通の目立たないものとなったといえよう。しかし、その着実な発展を確認する意味でも、現在の地域情報化の実態を知る必要がある。

このような状況を踏まえ、今年度の関西大会では元岩手県知事・総務大臣の増田寛也氏を迎え、地域情報化について御自身の貴重な経験を踏まえた講演をいただいた。また、中央官庁、地方自治体やNPOで日々地域情報化の最前線で活躍しているシンポジストとのパネル・ディスカッションを通じて、地域情報化の現状、新しいITの利活用とこれからの行方について理解を深めるべく議論を行った。

第29回国際コミュニケーション・フォーラム

開催日程	平成24年11月9日（金）
場 所	青山学院大学 本多記念国際会議場 （東京都渋谷区渋谷4-4-25）
主 催	公益財団法人情報通信学会
後 援	総務省、日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社、 日本電気株式会社、株式会社日立製作所、富士通株式会社、株式会社NTTドコモ、株 式会社東芝、イー・アクセス株式会社、KDDI株式会社、NTTコミュニケーションズ株 式会社、一般財団法人マルチメディア振興センター、NHK、一般社団法人日本民間放 送連盟、一般社団法人日本新聞協会
特別協力	国際ドラマフェスティバル in TOKYO、東京TVフォーラム、コンテンツ海外流通促進 機構、TIFFCOM、映像産業振興機構 VIPO

<プログラム>

会長挨拶

シンポジウム1「最新の中国ネット映像配信事情—正規流通と違法流通」

パネリスト 坂田俊介（コンテンツ海外流通促進機構）

永野行雄（コンテンツ海外流通促進機構）

前田哲男（弁護士）

宮川雄一（クロスワープ）

モデレータ 内山隆（青山学院大学）

シンポジウム2「海外番組展開 —出したい番組、引きのある番組、出すべき番組—」

パネリスト 天城鞆彦（NHKエンタープライズ／東京TVフォーラム実行委員長）

君嶋由紀子（日本テレビ放送網コンテンツ事業局国際事業局）

斎藤信吾（日本民間放送連盟国際ドラマフェスティバル担当）

佐藤輝彦（総務省情報通信作品振興課（コンテンツ振興課））

モデレータ 菅谷 実（慶應義塾大学 本学会会長）

<概要>

放送番組や映画は、国際コミュニケーションの一角を担うものである。ジャーナリズムや芸術性といった非営利の側面の活動が重視されてきたが、その製作には少なからずの費用を要するため、その“流通”は、ビジネスとしての側面も強くもつものである。

伝統的に放送番組の国際流通は、典型的なB to B構造である。その映像の興味深さや楽しさを提供することの裏側には、非常に多くの大変な法的、経営的な処理を伴うものであった。英語圏のものが圧倒的に支配する映像の国際市場にあって、日本の番組も健闘しているともいえるが、過去も現在も、いろいろな課題に直面している。

そのひとつがインターネット上の映像配信の普及である。違法流通が起りやすいこの媒体も、既に視

聴者との接触には重要な媒体となっている。国際展開するにあたっては、インターネットのほうが取り組みやすい国もある。しかし違法流通への意識を持たなければ、既存のフィジカルのB to Bの取引すら壊すものになってしまう。本会では、特にわが国コンテンツにとって影響力の大きな中国市場をとりあげ、違法流通対策とともに正規流通への取り組みも含めて討論を行った。

映画と異なり、多くの放送番組は当該放送エリアの国や地域を想定して製作されるものである。その分、国際流通は文化的なギャップから難しくなるともいえるが、それを乗り越えることの意義もある。長年、海外番組販売は、担当者の努力のなかで、波及効果や外部性といった側面が忘れられることはなかった。もちろん民間事業者が行うならば収益性も無視するわけにはいかない。そうした意義や意思、様々な取り組み、またわが国として海外への番組発信の今後の可能性について討論した。

長崎歴史文化博物館共催シンポジウム

開催日程	平成24年12月16日（日）
場 所	長崎県歴史文化博物館ホール (長崎県長崎市立山1-1-1)
テーマ	「長崎からつなぐ〈過去・現在・未来〉—日本の電信電話事業の幕開けと現代におけるケーブル事業の展開」
主 催	長崎歴史文化博物館
共 催	情報通信学会、社会情報学会（SSI）九州・沖縄支部、公益事業学会九州部会
協 賛	KDDIグループ
後 援	長崎県、長崎市、長崎県教員委員会、長崎市教育委員会、長崎新聞、西日本新聞社、朝日新聞社、日本経済新聞社長崎支局、毎日新聞社、読売新聞西部本社、KTNテレビ長崎、NIB長崎国際テレビ、NCC長崎文化放送、NBC長崎放送、NHK長崎放送局、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎

<プログラム>

開会挨拶 菅谷実（情報通信学会会長）

基調講演 「情報交流地としての長崎～過去から未来へ」

ブライアン・バークガフニ（長崎総合科学大学環境・建築学部教授）

パネル・ディスカッション 「海底ケーブルは何をどのようにつないだのか?!」

パネリスト

「近代化の魁・長崎～電信電話事業の幕開け」岡本健一郎（長崎歴史文化博物館研究員）

「電信電話事業から見た日本の近代化における世界認識」河又貴洋（長崎県立大学国際情報学部准教授）

「海底ケーブルの現状と将来展望」安田豊（株式会社KDDI研究所代表取締役会長）

「海底ケーブルの国際政治学」土屋大洋（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）

コーディネータ 菅谷実（慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所教授）

閉会挨拶 大堀哲（長崎歴史文化博物館館長）

<概要>

近代化の魁（さきがけ）となった長崎。その一つに電信電話事業の発祥の地としての長崎の存在がある。幕末の国際情勢動乱期に、長崎に持ち込まれた電信電話技術は、国際と国内を結ぶ交易都市としての長崎のみならず、国際情報流通ポイントとして長崎の戦略拠点的作用を高めることともなった。

本シンポジウムでは、近代化という社会改革の胎動期にあった長崎の遺産を手掛かりに、その後の近代・現代化を推進することになる情報通信技術の役割と機能拡大に伴う、歴史、政治、経済、技術の観点からとらえた「世界認識」の視点を探究。今日のグローバル化の進展の中で世界情勢と情報メディア環境の動態に照射しうる視座を得るための議論を行った。

平成24年度研究会開催状況

- ① **情報社会研究会**（主査：中村広幸） 2回開催
 - ・4月14日 13：00～19：00 SIT総合研究所佃イノベーションスクエア
「S3D映像の応用事例」 発表者：中村広幸（芝浦工業大学）、関谷隆司（ステレオアイ）
 - ・6月24日 10：45～12：15 国際教養大学（学会大会）
「災害記録とS3D映像」 発表者：中村広幸（芝浦工業大学）
- ② **国際情報研究会**（主査：三友仁志） 1回開催
 - ・6月24日 10：45～12：15 国際教養大学（学会大会）
「グローバルICT市場におけるモバイル・エコシステムの形成要件」 発表者：田中絵麻（マルチメディア振興センター）、三澤かおり（マルチメディア振興センター）、Marco Korder (McCann Worldgroup)
- ③ **情報文化研究会**（主査：岡田朋之、中野幸紀） 2回開催
 - ・9月7日 15：00～17：00 関西学院大学梅田キャンパス
「拡大するモバイルARサービスの現状と可能性：地図アプリを用いたモバイルAR技術の成功例『ちずぶらり』（ATR Creative）」 発表者：高橋真知（株ATR Creative）、富田英典（関西大学）
*モバイルコミュニケーション研究会と合同開催
 - ・3月30日（土） 13：00～15：30 関西学院大学梅田キャンパス
「日本のコンテンツは生き残れるか」 発表者：志村一隆（株情報通信総合研究所）、新居眞吾（KDDI株）
- ④ **マルチメディア研究会**（主査：塚本勝利、中西浩） 1回開催
 - ・7月13日 15：00～17：00 関西学院大学梅田キャンパス
「モバイルトラフィック急増への取り組み」 発表者：田中寛（KDDI株）
- ⑤ **情報行動研究会**（主査：吉井博明） 1回開催
 - ・6月24日 14：45～16：15 国際教養大学（学会大会）
「東日本大震災における首都圏住民の震災時の心理と情報行動—マスメディア・ソーシャルメディアの利用、被災地に関係する人の情報行動—」 発表者：関谷直也（東洋大学）
- ⑥ **モバイルコミュニケーション研究会**（主査：藤本憲一） 5回開催
 - ・6月24日 国際教養大学（学会大会）
「ハイブリッドネットワークの結節点としての場所メディア—子育て期の両親のメディア利用に関する一考察—」 発表者：天笠邦一（慶應義塾大学）
「日本におけるデジタル教科書導入プロセスの検討—日韓米比較を通して—」 発表者：上松恵理子（新潟大学）
「セカンド・オフライン—モバイルARと新しい移動感覚に関する研究—」 発表者：富田英典（関西大学）
 - ・7月21日 15：00～17：00 関西大学東京センター

「視覚的共存の新しい地図学：上海の位置情報サービスとカメラ付き携帯電話の利用を事例に」

発表者：ラリッサ・ヒョース（RMIT大学）

・9月7日 15：00～17：00 関西学院大学梅田キャンパス

*情報文化研究会と合同開催

・10月20日 14：00～17：00 関西大学東京センター

「モバイルメディアとテレビの現在をウチとソトから考える～ソーシャル視聴の可能性を中心に～」 発表者：中村隆志（新潟大学）、小川浩司（NHK放送文化研究所）

・3月7日 15：00～16：30 青山学院大学17310教室

「スマートフォンにおける個人データの利用と保護」 発表者：吉田達（新潟大学）

「スマートフォンの普及と母親たちの子育て実践の変化」 発表者：天笠邦一（慶應義塾大学）

「グローバルコミュニケーションアプリ『LINE』の成長と今後の戦略」 発表者：舛田淳（NHK Japan）

⑦ 情報知財研究会（主査：鈴木雄一） 7回開催

・4月3日 15：00～17：00 東京大学先端研知的財産権大部門丸の内分室

「Antitrust & Search」 発表者：David Wood（Gibson, Dunn & Crutcher法律事務所のブラッセル事務所筆頭パートナー）

・6月14日 13：00～15：00 東京大学先端研知的財産権大部門丸の内分室

「政府クラウドにおけるプライバシー：米国の最新事情」 発表者：Jeff Gould（Safegov.org）

・6月18日 18：30～20：30 東京大学先端研知的財産権大部門丸の内分室

「インターネット上の名誉棄損・プライバシー侵害をめぐる現状と実務」 発表者：富田寛之（千鳥ヶ淵法律事務所）、高橋未紗（千鳥ヶ淵法律事務所）

・9月6日 18：30～20：30 東京大学先端研知的財産権大部門丸の内分室

「デジタル著作物特別法は理論的に可能か」 発表者：塩澤一洋（成蹊大学）

・11月16日 18：30～20：30 東京大学先端研知的財産権大部門丸の内分室

「ネットワーク上のプライバシーー消費者の行動と選好に関する比較研究」 発表者：Eric Clemons（ペンシルヴェニア大学）

・12月5日 18：30～20：30 東京大学先端研知的財産権大部門丸の内分室

「ネットワーク上のプライバシー・個人情報保護と識別子ー「IT融合」等ビッグデータ、ライフログ系ビジネス及び医療情報保護法制における法的基盤整備のポイント」 発表者：鈴木正朝（新潟大学）

・3月22日 18：30～20：30 東京大学先端研知的財産権大部門丸の内分室

「医療情報の収集と利活用に伴う法的問題～患者登録の取組み」 発表者：森田瑞樹（東京大学知の構造化センター）、百瀬理絵（NPO法人知的財産研究推進機構）

⑧ 間メディア社会研究会（主査：遠藤薫） 1回開催

・7月28日 15：00～17：00 東京大学駒場キャンパス5号館511教室

「サイバーアクティビズムとソーシャルメディア」 発表者：八田真行（駿河台大学）、木村忠正（東京大学）

⑨ 社会システム研究会（主査：清原聖子） 1回開催

6月24日 13：00～14：30 国際教養大学（学会大会）

テーマ「ネットメディア時代における新しい政治運動・選挙運動の形を提示する」

「変貌するメディアとアメリカの社会運動、選挙：ティーパーティー運動とウォール街占拠運動を中心にして」 発表者：前嶋和弘（文教大学）

「日本の大都市におけるインターネット選挙：2010年参議院選挙および 2011年大阪市長選挙を事例として」 発表者：上ノ原秀晃（大阪商業大学）

⑩ **メディア集中に関する研究会**（主査：中村清） 1回開催

・6月24日 10：45～12：15 国際教養大学（学会大会）

「国際プロジェクトの状況について」 発表者：林紘一郎（情報セキュリティ大学院大学）

「国際プロジェクトに対する日本からの報告について」 浅利光昭（メディア開発総研）

「放送分野の各国比較について」 発表者：市川芳治（慶應義塾大学）

「通信分野の各国比較について」 発表者：山田肇（東洋大学）

⑪ **地域メディア研究会**（主査：上原伸元） 3回開催

・6月24日 14：45～16：15 国際教養大学（学会大会）

「ブロードバンドの普及拡大が拓く映像系地域メディアの可能性」 発表者：米谷南海（慶應義塾大学大学院）、脇浜紀子（読売テレビ放送）

・7月31日 17：30～19：00 慶應義塾大学三田キャンパス大学院等8階会議室

「イギリスにおけるローカルメディア政策」 発表者：中村美子（NHK放送文化研究所）

・9月19日 17：00～18：30 慶應義塾大学三田キャンパス大学院等8階会議室

「韓国の地域メディア：ケーブルテレビを中心にして」 発表者：金美林（慶應義塾大学）

⑫ **ICT将来政策研究会**（主査：土屋大洋、秋吉美都） 3回開催

・5月30日 10：00～12：00 総務省1101会議室

「ビッグデータビジネスの興隆」 発表者：鈴木良介（野村総合研究所）

「ハックティヴィズムとは何かーその情報活用法および大衆動員手段の分析」 発表者：塚越健司（一橋大学大学院社会学研究科）

「EUにおける個人データ保護に関する制度の発展-1995年個人データ保護指令を軸にして-」 発表者：原田祐樹（総務省情報通信政策研究所）

・11月30日 15：00～17：00 経済産業省別館850号会議室

「海外におけるエネルギー分野のデータ活用実態と国内の可能性」 発表者：新井宏征（情報通信総合研究所）

「クラウドとグローバルITガバナンス」 発表者：栗田克己（早稲田大学大学院国際情報通信研究科）

「青少年のインターネット・リテラシー指標 —指標開発と実態調査—」 発表者：吉田智彦（総務省情報通信政策研究所）

・2月21日 14：00～16：00 経済産業省別館850号会議室

「消費者向け有線ブロードバンドサービスの性能に関する2012年7月の米国FCCの報告書について」 発表者：原田祐樹（総務省情報通信政策研究所）

⑬ **情報通信経済法学研究会**（主査：林秀弥） 2回開催

・6月24日 10：45～12：15 国際教養大学（学会大会）

「プラットフォームから見た英国ICT市場」 発表者：林秀弥（名古屋大学）

「米国における価格圧搾に対する規律に関する一考察」 発表者：福田雅樹（早稲田大学）

・2月24日 14：30～16：30 名古屋大学文系総合館411教室

「携帯電話2年定期契約の解約金訴訟（京都地裁判決は何故分かれたか?）」 発表者：武智健二（イー・アクセス株式会社執行役員副社長）

⑭ **歴史・文化とデジタルメディア研究会**（主査：横井茂樹） 2回開催

・5月7日 17：30～19：30 名古屋大学情報科学研究科棟1階第1講義室

「日本の歴史文化の魅力と歴史文化に関わる活動の紹介」 発表者：クリス・グレン氏（ラジオDJ）

・12月10日 17：30～19：30 名古屋大学情報科学研究科棟1階第1講義室

「地域広報とソーシャルメディア」 発表者：河井孝仁（東海大学文学部広報メディア学科）

⑮ **情報通信文明史研究会**

・「情報通信文明史研究会報告書」を6月に発行

情報通信ビジネス懇談会

第32回情報通信ビジネス懇談会

日 時：平成24年9月28日（金） 18：30～19：45

場 所：青山学院大学 青山キャンパス 総研ビル第16会議室

テーマ：「ICTが導く震災復興・日本再生の道筋 —平成24年版情報通信白書のポイント—」

発表者：磯寿生（総務省情報通信国際戦略局情報通信経済室長）

第33回情報通信ビジネス懇談会

日 時：平成24年10月22日（月） 18：30～19：45

場 所：エッサム神田ホール中会議室602

テーマ：「スマートフォンの安心・安全な利用環境の整備へ向けて」

発表者：玉田康人（総務省総合通信基盤局消費者行政課長）

第34回情報通信ビジネス懇談会

日 時：平成24年11月19日（月） 18：30～19：45

場 所：エッサム神田ホール中会議室602

テーマ：「ICTを活用した街づくりに関する取組と日本を元気にするICT戦略」

発表者：中村裕治（総務省情報通信国際戦略局融合戦略企画官）

第35回情報通信ビジネス懇談会

日 時：平成25年1月29日（火） 18：30～20：00

場 所：慶応大学三田キャンパス東館4階G-SEC会議室

テーマ：「日本の今後の課題とICT政策」

発表者：発表者：寺崎明（㈱野村総合研究所顧問、東京工業大学客員教授）

情報通信学会誌 (102号～105号)

情報通信学会誌第102号 (平成24年5月号)

掲載論文

- ・「ワイヤレスクラウド時代のネットワーク中立性—トラヒック混雑問題とオフロード率ガ イド ライナー—」 小牧省三、塚本勝俊、東野武史
- ・「クラウド・コンピューティングにおける非対称情報の解消について—第三者認証の活用に向けて—」 栗田克己、樋口清秀
- ・「Product Innovations of Embedded Software in Mobile Phones: An Empirical Analysis Based on the Functions Realized by Embedded Software」 Zhongquan XIE、Kumiko MIYAZAKI

情報通信学会誌第103号 (平成24年9月号)

特集 第29回情報通信学会大会

掲載論文

- ・「長期間利用される検索キーワード検出手法の提案」 上野大樹、樋口文人、安村通晃
- ・「視覚障害者向け音声読み上げ機能の評価—電子書籍の普及を見据えて—」 山口翔、植村要、青木千帆子

掲載論説

- ・「性的有害情報に関する実証的研究の系譜～従来メディアからネットまで」 渡辺真由子

情報通信学会誌第104号 (平成24年12月号)

特集 第29回国際コミュニケーション・フォーラム

掲載論文

- ・「Privacy と Property の微妙なバランス : Post 論文を切り口にして Warren and Brandeis 論文を読み直す」 林紘一郎
- ・「肖像情報に関する権利利益の諸相」 斉藤邦史
- ・「An Empirical Analysis of B2B Mobile Carrier Service Innovations and User Involvement in Korea」 Seunghye HONG、Kumiko MIYAZAKI

掲載論説

- ・「電子書籍のアクセシビリティ」 松原 聡、山口 翔、岡山将也、池田敬二
- ・「テレワークを通じた災害時の働き方についての一考察—首都圏の企業雇用労働者を対象としたアンケート調査から—」 吉見憲二、藤田宜治

情報通信学会誌第105号 (平成25年3月号)

特集 関西大会、共催シンポジウム

掲載論説

- ・「書籍・電子書籍の商業的寿命と社会的効用に関する分析」 源 直人

評議員会及び理事会の開催

<評議員会>

第 6 回評議委員会

日時：2012 年 6 月 12 日（火） 9：30～11：45

場所：マルチメディア振興センター 3階 中会議室

出席者：（評議委員）浅見訓男、佐藤靖夫、宿南達志郎、高田義久、辻正次、中野幸紀（スカイプによる参加）、根本典夫、樋口清秀、村瀬楨文（理事）菅谷実、福家秀紀、坂田紳一郎、（監事）高橋守和

議案：

1. 平成 23 年度事業報告について
2. 平成 23 年度決算について

検討事項：

1. 基本財産の運用について
2. 今後の学会活動と資金について
3. 会員投票のあり方について

報告事項：

1. 寄付の募集について
2. 第 29 回学会大会の開催について

第 7 回評議委員会

日 時：2012 年 10 月 16 日（火） 13：30～14：47

場 所：マルチメディア振興センター中会議室

出席者：（評議員）浅見訓男、川崎賢一、佐藤靖夫、宿南達志郎、高田義久、辻正次、富田英典（スカイプによる参加）、中野幸紀、根本典夫、樋口清秀、（理事）菅谷実、福家秀紀、三友仁志、（監事）新保史生、高橋守和

議 案：

1. 財団法人情報通信学会の基金に関する規則の改定
2. 公益事業促進基金の取り崩しについて
3. 周年事業基金の取り崩しについて
4. 平成 24 年度補正予算について
5. 定款の変更の案について

報告事項：

1. 総括担当常務理事代行と国際担当理事について
2. 事務局移転について
3. 職務執行状況報告

第 8 回評議員会

日 時：2013年2月15日（金）13：30～15：00

場 所：マルチメディア振興センター2階中会議室

出席者：（評議員）浅見訓男、遠藤薫、佐藤靖夫、宿南達志郎、高田義久、中野幸紀（スカイプによる参加）、根本典夫、村瀬眞文、（理事）菅谷実、福家秀紀、青木淳一、（監事）新保史生、高橋守和

議 案：

1. 理事候補者の選挙の実施について
2. 理事選挙管理委員会の委員長及び委員の人選について

検討事項：

1. 定款及び規則の見直しについて

報告事項

1. 今後のスケジュールについて

第9回評議員会

日 時：2013年3月18日（金）13：30～15：00

場 所：一般社団法人電波産業会第1会議室A

出席者：（評議員）浅見訓男、遠藤薫、佐藤靖夫、宿南達志郎、高田義久、辻正次、富田英典、根本典夫、本多周爾、村瀬眞文、（理事）菅谷実、福家秀紀、三友仁志、青木淳一、（監事）高橋守和

議 案：

1. 平成25年度事業計画について（承認事項）
2. 平成25年度予算について（承認事項）
3. 周年事業基金の取崩しについて（承認事項）
4. 公益事業促進基金の取崩しについて（承認事項）
5. 公益財団法人情報通信学会定款の変更について（決議事項）
6. 公益財団法人情報通信学会 評議員等の選挙、会員投票及び総会に関する規則（選挙・会員投票等規則）の改正について（承認事項）
7. 公益財団法人情報通信学会 会員に関する規則（会員規則）の改正について（承認事項）

報告事項

1. 理事候補者の推薦状況
2. 次回評議員会日程等について

<理事会>

第8回理事会

日 時：2012年5月15日（火）9：30～11：45

場 所：マルチメディア振興センター 中会議室

出席者：（理事）菅谷実、福家秀紀、三友仁志、内山隆、山下東子、青木淳一、井上泰浩（スカイプによる参加）、上原伸元、神野新、木村幹夫、中西浩、森本和憲、（監事）高橋守和

議 案：

1. 平成23年度事業報告について

2. 平成 23 年度決算報告について
3. 研究会設置運営規則について
4. 評議員会召集について
5. 会員投票について
6. 寄附金等の募集について
7. 論文賞の選定について
8. 第 30 回学会大会開催校について
9. 終身会員の承認について
10. 入会申込者の承認について

検討事項：

1. 今後の活動と資金について
2. 周年事業基金および研究会促進基金について

報告事項：

1. 学会大会進捗状況
2. 今年度の研究会および情報通信ビジネス懇談会活動予定
3. 英文ホームページのリニューアルについて
4. その他

第 9 回みなし決議による理事会

日 時：2012 年 6 月 8 日（金）

出席者：出席者：（理事）菅谷実、福家秀紀、坂田紳一郎、三友仁志、内山隆、山下東子、青木淳一、井上泰浩、森本和憲、上原伸元、梶浦敏範、神野新、金正勲、木村幹夫、塩谷さやか、中西浩、中野雅至、服部孝章、（監事）新保史生、高橋守和

議 案：

1. 平成 24 年度事業報告について
2. 平成 24 年度決算について
3. 論文賞の決定について
4. 第 29 回学会大会シンポジウムの共催および協賛について
5. 入会申込者の承認について

第 10 回理事会

日 時：2012 年 9 月 18 日（金）13：00～15：15

場 所：マルチメディア振興センター 中会議室

出席者：（理事）菅谷実、福家秀紀、三友仁志、内山隆（第 10 号議案より議決に参加）、山下東子、森本和憲、上原伸元、梶浦敏範、神野新、井上泰浩（スカイプによる参加）、（監事）新保史生、高橋守和

議 案：

1. 事務局移転について
2. 公益財団法人情報通信学会の基金に関する規則の改定

3. 公益事業促進基金の取り崩しについて
4. 周年事業基金の取り崩しについて
5. 満期となる基本財産の取扱いについて
6. 平成 24 年度補正予算について
7. 定款の変更の案について
8. 評議員会招集について
9. 関西センター委員の交替について
10. 投稿論文取扱規則の改定
11. 財団法人電気通信端末機器審査協会賛助会員加入について
12. 入会申込者の承認について

報告事項：

1. 総括担当常務理事代行と国際担当理事について
2. 寄附受入について
3. 職務執行状況報告：
 - 3-1 第 29 回学会大会開催報告
 - 3-2 第 29 回国際コミュニケーション・フォーラムの進捗状況
 - 3-3 学会誌発行
 - 3-4 研究会開催状況
 - 3-5 その他の事業

検討事項：学会の基本的な財政問題への対応策について

第 11 回みなし決議による理事会

日 時：2012 年 10 月 31 日（水）

出席者：（理事）菅谷実、福家秀紀、坂田紳一郎、三友仁志、内山隆、山下東子、青木淳一、井上泰浩、森本和憲、上原伸元、梶浦敏範、神野新、金正勲、木村幹夫、塩谷さやか、中西浩、中野雅至、服部孝章、（監事）新保史生、高橋守和

議 案：

1. 正会員表彰受賞者について
2. 財団法人情報通信学会の基金に関する規則の改定
3. 入会申込者の承認について

第 12 回みなし決議による理事会

日 時：2012 年 12 月 6 日（木）

出席者：（理事）菅谷実、福家秀紀、三友仁志、内山隆、山下東子、青木淳一、井上泰浩、森本和憲、上原伸元、梶浦敏範、神野新、金正勲、木村幹夫、塩谷さやか、中西浩、中野雅至、服部孝章、（監事）新保史生、高橋守和

議 案：

1. 「長崎歴史文化博物館常設展示特別企画シンポジウム」の共催について
2. 「第 2 回東京スマートフォンアプリアワード」の後援について

3. 入会申込者の承認

第13回みなし議決による理事会

日 時：2013年2月6日（水）

出席者：（理事）菅谷実、福家秀紀、三友仁志、内山隆、山下東子、青木淳一、井上泰浩、森本和憲、上原伸元、梶浦敏範、神野新、金正勲、木村幹夫、塩谷さやか、中西浩、中野雅至、服部孝章、（監事）新保史生、高橋守和

議 案：

1. 評議員会招集の件
2. 会員の入会承認

第14回理事会

日 時：2013年2月26日（火）13:00～14:30

場 所：一般社団法人電波産業会 会議室A1

出席者：（理事）菅谷実、福家秀紀、三友仁志、内山隆、山下東子、森本和憲、上原伸元、梶浦敏範、神野新、木村幹夫、中西浩、（監事）新保史生、高橋守和

議 案：

1. 平成25年度事業計画について
2. 平成25年度予算について
3. 周年事業基金の取崩しについて
4. 公益事業促進基金の取崩しについて
5. 公益財団法人情報通信学会定款の変更について
6. 常任理事会の設置について
7. 公益財団法人情報通信学会 評議員等の選挙、会員投票及び総会に関する規則（選挙・会員投票等規則）の改正について
8. 公益財団法人情報通信学会 会員に関する規則（会員規則）の改正について
9. 公益財団法人情報通信学会 個人情報保護規程及び個人情報保護方針の改正について
10. 公益財団法人情報通信学会 情報公開に関する規則（情報公開規則）の制定について
11. パブリックコメントの実施について
12. 新規研究会の設置について
13. 学協会著作権ポリシーデータベース（SPCJ）への登録について
14. 新規入会者の承認について

報告事項

1. 職務執行状況報告
2. 今後のスケジュールについて

第15回みなし議決による理事会

日 時：2013年3月19日（火）

出席者：（理事）菅谷実、福家秀紀、三友仁志、内山隆、山下東子、青木淳一、井上泰浩、森本和憲、

上原伸元、梶浦敏範、神野新、金正勲、木村幹夫、塩谷さやか、中西浩、中野雅至、服部孝章、(監事)新保史生、高橋守和

議 案：

1. 寄付の受け入れの件

第16回みなし議決による理事会

日 時：2013年3月26日(火)

出席者：(理事)菅谷実、福家秀紀、三友仁志、内山隆、山下東子、青木淳一、井上泰浩、森本和憲、上原伸元、梶浦敏範、神野新、金正勲、木村幹夫、塩谷さやか、中西浩、中野雅至、服部孝章、(監事)新保史生、高橋守和

議 案：

1. 平成25年度収支予算案の変更
2. 周年事業基金の取崩し額の変更について

委員会等の開催

<正副会長常務理事会>

第1回正副会長常務理事会

日 時：2012年9月10日（月）9：30～11：50

場 所：情報通信学会事務局

出席者：菅谷実、福家秀紀、内山隆、山下東子

報告事項：総括担当常務理事代行と国際担当理事について

検討事項：9月18日に開催される理事会議案について

議 案：

1. 事務局移転について
2. 公益財団法人情報通信学会の基金に関する規則の改定
3. 研究促進基金の取り崩しについて
4. 周年事業基金の取り崩しについて
5. 満期となる基本財産の取扱いについて
6. 平成24年度補正予算について
7. 評議員会の招集について
8. 関西センター委員の交替について
9. 投稿論文取扱規則の改定
10. 財団法人電気通信端末機器審査協会への加入について
11. 入会申込者の承認について
12. その他

第2回正副会長常務理事会

日 時：2012年12月10日（月）19：00～21：10

場 所：慶應義塾大学南校舎萬來舎会議室

出席者：菅谷実、福家秀紀、三友仁志、内山隆、山下東子、（説明員）根本典夫

検討事項：

1. 定款・規則の改定について
2. その他

<事業企画委員会>

第1回事業企画委員会

日 時：2012年7月30日（月）10：00～11：15

場 所：情報通信学会事務局

出席者：三友仁志、梶浦敏範、森本和憲、高崎晴夫、（以下スカイプ参加）井上泰浩、春日教測

議 案：

1. 第29回国際コミュニケーション・フォーラムの進捗状況

2. 設立30周年記念国際コミュニケーション・フォーラムの開催

3. 情報通信ビジネス懇談会

<研究企画委員会>

例年4月に開催している研究企画委員会は、平成24年3月30日に繰り上げて開催したため、平成24年度は0回の委員会開催となった。その他、メーリングリストにより随時検討を行う。

<編集委員会>

第1回編集委員会

日 時：2012年5月10日（木）18：00～20：00

場 所：情報通信学会事務局

出席者：山下東子、木村幹夫、福田雅樹、水島久光

議 案：

1. 平成23年度論文賞の選考
2. 投稿論文取扱い規則について

第2回編集委員会

日 時：2012年9月18日（木）13：00～15：00

場 所：情報通信学会事務局

出席者：山下東子、北村順生、福田雅樹

議 案：

1. 投稿論文の査読の可否判断、担当編集員の決定、査読員の推薦
2. 情報通信学会誌投稿論文取扱い規則について
3. その他

第3回編集委員会

日 時：2013年2月7日（木）13：00～15：10

場 所：情報通信学会事務局

出席者：山下東子、木村幹夫、福田雅樹

議案：

1. 投稿論文の査読の可否判断、担当編集員の決定、査読員の推薦
2. 著作権ポリシーについて
3. その他

<関西センター委員会>

第1回関西センター委員会

日 時：2012年6月5日（火）10：30～11：30

場 所：関西学院大学大阪梅田キャンパス 1402 教室

出席者：辻正次、中野雅至、塚本勝俊、春日教則、岡田朋之、小林佳純、長谷川想、織部雅之、

加藤聡

議案：

1. 平成24年度関西大会について
2. 研究会について

第2回関西センター委員会

日時：2012年9月5日（水）15：00～16：00

場所：関西学院大学大阪梅田キャンパス 1401 教室

出席者：辻正次、中野幸紀、春日教則、岡田朋之、加藤聡、宿南達志郎、太田清喜

議案：

1. 平成24年度関西大会について

第3回関西センター委員会

日時：2012年12月4日（火）17：00～18：30

場所：関西学院大学大阪梅田キャンパス

出席者：辻正次、中野幸紀、中西浩、塚本勝俊、春日教則、岡田朋之、加藤聡

議案：

1. 「勉強会」について
2. 関西センター委員会運営委員の改選について

第4回関西センター委員会

日時：2013年3月30日（土）15：30～16：30

場所：神戸国際会館セミナーハウス 704 号会議室

出席者：辻正次、中野幸紀（スカイプ参加）、中西浩（スカイプ参加）、春日教則、宿南達志郎

議案：

1. 関西センター委員会運営委員の改選について
2. 委員の推薦決定
3. 平成25年度事業計画について

<情報化委員会>

メールによる情報化委員会

5月1日（火）から8月31日（金）までにメールにて随時開催

メール数：63通

議案：

1. 英文HP
2. 学会研究活動のニューメディア利用
3. ツイッター作業

第1回情報化委員会

日 時：2013年3月14日（木）17：00～18：15

場 所：情報通信学会事務局

出席者：上原伸元、浅利光昭、市川芳治

議 案：

1. 学会事務局会員管理業務のICT活用による作業の効率化/合理化
2. 学会ホームページ（外国語版）の改善
3. 学会ホームページ（日本語版）の改善
4. プッシュ型情報サービス（メールマガジン、ツイッター）の提供
5. 映像系サービスの活用【研究企画委員会関連】

<定款および規則の見直しワーキンググループ>

第1回定款・規則の見直しワーキンググループ会合

日 時：2012年11月21日（水）10：00～12：00

場 所：情報通信学会事務局

出席者：根本典夫、青木淳一、（監事）高橋守和

議 案：

1. 定款・規則の改正スケジュール
2. 定款・規則の改正リストの作成

第2回定款・規則の見直しワーキンググループ会合

日 時：2012年12月20日（木）9：30～10：45

場 所：情報通信学会事務局

出席者：根本典夫、青木淳一

議 案：

1. 定款改正作業について
2. 規則の改定について
3. 作業の分担

第3回定款・規則の見直しワーキンググループ会合

日 時：2013年3月26日（火）13：00～14：05

場 所：情報通信学会事務局

出席者：根本典夫、青木淳一、（監事）高橋守和

議 案：

1. 前回理事会及び評議員会で承認を得た規則以外の規則類の見直し
2. 今後の作業分担について

付属明細書

1. 会員の増減

【平成24年度中の会員増減状況】

		正会員 (一般)	正会員 (院生)	正会員 (特別)	正会員 (団体)	学生 会員	賛助会員		合計	
							団体数	口数	個人	団体 口数
24年4月1日現在 報告会員数		700	122	65	4 (6口)	4	41	107	891	113
年度内 増減	入会	40	16	0	0	2	2	2	58	2
	退会	△62	△25	0	△1 (1口)	0	△3	△5	△87	△6
	変更	9	△9	0	0	0	0	0	0	0
	口数変	0	0	0	0	0	0	△1	0	△1
	増減計	△13	△18	0	△1 (1口)	2	△1	△4	△29	△5
25年3月31日現在 報告会員数		687	104	65	3 (5口)	6	40	103	862	108